



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: Aida, M.

Group Art Unit: 2411

Serial No. 08/330,573

Examiner: Kyle, C.

Filed: 10/28/94

Title: HANDWRITING TEXT INPUT SYSTEM

#8
Priority
8/28/96

CLAIM FOR FOREIGN PRIORITY

Commissioner of Patents and Trademarks
Washington, D.C. 20231

Dear Sir:

Pursuant to Section 119, applicant hereby claims foreign priority based on Japanese patent application No. 171532/94 filed 19 June 1994. The certified copy thereof is attached hereto.

Respectfully submitted,

Y. Takeuchi

Yusuke Takeuchi
Reg. No. 30,921
Agent for Applicant
Date: 8/16/96

KANESAKA & TAKEUCHI
727 South 23rd Street
Arlington, VA 22202
(703) 521-3810



日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1994年 6月19日

出 願 番 号

Application Number:

平成 6年特許願第171532号

出 願 人

Applicant(s):

中村 健
合田 つね
合田 英彦
大野 幹雄
荻島 陽子
合田 政雄
合田 光▲廣▼

1994年12月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

高 島



出証番号 出証特平06-3051555

【書類名】 特許願

【整理番号】 94-J01

【提出日】 平成 6年 6月19日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 15/20

【発明の名称】 テキスト入力装置

【請求項の数】 2

【発明者】

 【住所又は居所】 奈良県奈良市西九条町3丁目8番25号

 【氏名】 合田 光廣

【特許出願人】

 【識別番号】 593129700

 【郵便番号】 132

 【住所又は居所】 東京都江戸川区平井1丁目16番8号

 【氏名又は名称】 中村 健

 【電話番号】 03-3682-2542

【特許出願人】

 【識別番号】 593185821

 【郵便番号】 270-01

 【住所又は居所】 千葉県流山市大字加1040

 【氏名又は名称】 合田 つね

 【電話番号】 0471-58-0684

【特許出願人】

 【識別番号】 593129711

 【郵便番号】 270-01

 【住所又は居所】 千葉県流山市大字加1040

 【氏名又は名称】 合田 英彦

 【電話番号】 0471-58-9684

【特許出願人】

【識別番号】 593129722
【郵便番号】 141
【住所又は居所】 東京都品川区上大崎3丁目-10番-27号
【氏名又は名称】 大野 幹雄
【電話番号】 03-3442-9517

【特許出願人】

【識別番号】 593129733
【郵便番号】 111
【住所又は居所】 東京都台東区浅草5-71-13
【氏名又は名称】 荻島 陽子
【電話番号】 03-3873-6505

【特許出願人】

【識別番号】 593129744
【郵便番号】 270
【住所又は居所】 千葉県松戸市日暮227-1
【氏名又は名称】 合田 政雄
【電話番号】 0473-91-2483

【特許出願人】

【識別番号】 593129755
【郵便番号】 630
【住所又は居所】 奈良県奈良市西九条町3丁目8番25号
【氏名又は名称】 合田 光廣
【電話番号】 0742-61-7708

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1

【書類名】 明細書

【発明の名称】 テキスト入力装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 文字情報を入力する入力手段と、文字列からなる語句を複数個格納する辞書手段と、前記入力手段からの文字入力毎に、その入力文字列を前記辞書手段と照合し、入力文字列と先頭文字列が一致する複数の語句がある場合、それらの語幹が一致すれば、次の文字を入力時に、その入力文字と前記複数の語句の文字列の最後の文字を比較し、一致する唯一の語句があるか否かを判定し、一致しない時は、前記複数の語句の文字列の中、入力文字列と既に照合済みの部分以降に、前記次の入力文字を含む唯一の語句があるか否かを判定する判定手段と、入力文字列を含む唯一の語句として前記判定手段により判定された語句を出力する出力手段、及び前記各手段を制御する制御手段を含むテキスト入力装置。

【請求項1】 文字情報を入力する入力手段と、文字列からなる語句を複数個格納する辞書手段と、前記入力手段からの文字入力毎に、その入力文字列を前記辞書手段と照合し、入力文字列と先頭文字列が一致する語句が無い場合、それが先頭文字の入力である場合を除き、それ以前の文字入力時に入力文字列と先頭文字列が一致したか又は入力文字列を含むと判定された前記辞書手段中の語句の文字列の中、入力文字列と既に照合済みの部分以降に、最後に入力された文字を含む唯一の語句があるか否かを判定する判定手段と、入力文字列を含む唯一の語句として前記判定手段により判定された語句を出力する出力手段、及び前記各手段を制御する制御手段を含むテキスト入力装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は、情報処理装置や通信制御装置等に於けるテキスト入力負荷を軽減するテキスト入力装置に関する。

【0002】

【従来技術】

従来の入力負荷軽減の為のテキスト入力方法の一つとして、略語や短縮語を用いるものがある。例えば略語辞書を持ち、あらかじめ設定された略語の文字列を入力すればその略語に対応する登録語を辞書から取り込み、入力文字列に置き換える事により負荷を軽減するものがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかし前記の場合、略語を記憶し、且つ略語の変換を指示する必要があり、その効率は操作者個人の能力に依存する要素が大きい。又、略語や短縮語等は、その登録語の総ての文字列と、入力文字列の総てが一致した時にのみ有効となる。

【0004】

本発明では、総ての文字列が一致する場合のみならず、それ以前の段階、即ち、それが辞書内で唯一の語句と判定された時に、辞書登録内容が読み込まれて、所望語句の文字列の残りの入力部分が補正され、より少ない桁数の入力で語句の入力を完結できる。従って、辞書登録内容を特に意識せず、操作者の記憶能力等に依存しない自然な入力操作で、テキスト入力効率を高める装置を提供する。

【0005】

【課題を解決する為の手段】

文字入力毎に、入力文字列を辞書と照合し、入力文字列と先頭文字列が一致する複数の語句がある場合、それらの語幹が一致すれば、次の文字を入力時に、その文字と前記複数の語句の文字列の最後の文字を比較し、一致する唯一の語句があるか否かを判定し、一致しない時は、前記各語句の文字列の中、入力文字列と既に照合済みの部分以降に、前記入力文字を含む唯一の語句があるか否かを判定し、入力文字列を含む唯一の語句と判定された語句を出力する。又、文字入力毎に、その入力文字列を辞書と照合し、入力文字列と先頭文字列が一致する語句が無い場合、それ以前の文字入力時に入力文字列と先頭文字列が一致したか又は入力文字列を含むと判定された複数の語句の文字列の中、入力文字列と既に照合済みの部分以降に、最後に入力された文字を含む唯一の語句があるか否かを判定し、入力文字列を含む唯一の語句と判定された語句を出力する。

【0006】

【作用】

本テキスト入力装置に於いては、入力手段により文字が入力される度に入力途中の文字列の後に付け加え、その入力文字列と辞書手段中の各語句文字列を照合する。入力文字列と先頭文字列が一致する複数の語句があり、それらの語幹が一致する場合、次の文字を入力時に、その入力文字と前記複数の語句の最後の文字を比較し、一致する唯一の語句を探す。一致しなければ、前記複数語句の、入力文字列と照合済みの部分以降の文字列の中で入力文字と一致する唯一の語句を探す。唯一の語句があれば辞書手段からそれを補正し、入力済みの文字列以降の文字入力を省略出来る。又、入力文字列と辞書手段中の各語句の文字列を照合した結果、入力文字列と一致する複数の語句が無い場合、それが先頭文字の場合を除き、辞書語句の文字列の中、直前迄の入力文字列と照合済みの部分以降の文字列の中に入力文字と一致する唯一の語句を探し、もしあれば、辞書手段からそれを補正することにより、入力済みの文字列以降の文字入力を省略出来る。

【0007】

【実施例】

図1に本発明のテキスト入力装置の一例のブロック図を示す。

図1に於いて、テキスト入力装置は、入力内容や編集結果等を表示する液晶等からなる表示部1と、文字情報を入力するキーボードや読み取り部等からなる入力部2と、Read Only Memoryや、Random Access Memory等からなる辞書部3と、表示部1、入力部2、辞書部3等を制御するプログラムを実行する制御部4と、制御プログラムや入力テキスト等を格納するRAM等からなるメモリ部5を含む。

【0008】

図2、図3、図4、図5、図6、図7、図8、図9、図10は、本実施例の動作を説明するフローチャートであり、これに基づいて本装置の動作を説明する。

【0009】

F001は、処理の開始にあたり、プログラムカウンタやフラグ、作業領域等の内容を初期化する。次に、F002で、1桁単位の文字入力を行う。

【0010】

F003では、F002の入力内容が終了指定コードか否かを判定し、もし終りならば、F003Aで終了処理をして停止する。終りで無ければ、F004以降の処理に進む。

【0011】

F004に於いて、入力内容が語句の区切りを示すもの、即ち、入力語句のセパレータか否かを調べ、もしそうであれば、F004Aに進み、入力語句の終了処理を行い、Tフラッグをオフにした後、F004Bで、それまでの入力センテンス格納領域の後部に、入力語句を加え、F002の入力処理に戻る。F004の判定内容が、入力語句のセパレーター以外であれば、処理はF005に進む。

【0012】

F005では、入力内容がピリオドか否かにより、処理が分かれる。ピリオドの場合はF005Aに進み、（センテンス終了の為）入力語句以前の入力センテンス格納領域を初期化（クリア）した後、F002の入力処理に戻る。ピリオド以外であれば、処理はF006に進む。

【0013】

F006では、入力内容が、通常の文字であるか否かを判定し、文字であれば処理はF006Aに進む。文字以外であれば、F006Cの判定に進み、判定結果がESCコードでなければ、その他の機能コードの処理となり、本方法の説明内容とは、直接的関係が無いので、説明を省略する。

【0014】

F006Cの判定結果がESCコードならば、F006Dに進み、直前に、入力文字列の残りを辞書から補う補正処理が成されたか否かを判定し、YesであればF006Eで、補正の直前の入力／表示状態に戻す処理を行い、F002の入力に戻る。Noであればこの場合は何もせず、次の文字入力のため、F002に戻る。

【0015】

前記F006の判定結果が通常の文字なら、処理はF006からF006Aに進み、入力された文字を表示し、次にF006Bにて、それ以前の入力文字列の後に、入力文字を加え、新しい文字列を形成する。その後、F007のTフラッグ

の判定に進む。

【0016】

F007では、索引すべき語が未だあるか否かを示すTフラッグが、オンか否かを判定する。オンの場合は、それ以前に入力された文字列値を含み、辞書内で唯一の語句が否かを索引する対象となる語句が、辞書内にそれ以上存在しないと言うことなので、処理はF002の入力処理に戻る。Tフラッグがオフ即ち索引すべき対象語句が、未だ辞書内に存在する場合は、F008の辞書索引処理に進む。

【0017】

F008では、入力文字列を用いて、辞書内を探索する。同時に、索引すべき語句が未だあることを示す為、Tフラッグもオフにしておく。探索処理の内容は、後述のS001以降で説明する。その後処理はF009に進み、F008に於ける辞書索引の結果、入力文字列を含み辞書内で唯一の語句となり得る語句が、複数あるか否かを判定する。もし複数の候補語句があれば、処理はF009Aに進む。F009Aでは、複数の候補語句の中で、最も少ない桁数の語句の文字列全体、若しくは、その文字列の最後の1桁を除外した文字列が、他の全ての候補語句の先頭文字と等しいか否かを判定。もしYesであれば、それを唯一語句として、F010Aに進む。F009Aの判定でNoと判定されれば、処理はF009Bに進む。

【0018】

F009Bでは、語幹・略語判定処理をする。この内容は、S020以降に於いて説明する。次にF009Cの判定で 特定処理が不成功であった場合は、F002の入力に戻る。特定に成功した場合、次にF009Dに進み、唯一か否かを判定し、もし特定に成功した語句が唯一であれば、F010A以降の補正処理に進む。F009Dの判定が唯一でなければ、F011以降の処理に進む。

【0019】

前記F009で、判定結果が複数では無い場合、F010の唯一語句判定に進み、入力文字列を含み、辞書内で唯一の語句があれば、F010Aに進み、ブザーを1度鳴らして索引成功を報知し、F010Bで、現・表示内容の退避と、入力

語句の補正と表示を行い、続くF010Cで、入力語句終了処理、その後F010Dに於いて、入力センテンス領域の後に入力語句を加え、F002の文字入力に戻る。

【0020】

前記F009Dの判定結果、及び、前記F010の判定結果、唯一で無ければ、処理はF011に進み、索引対象となる語句がまだ残っているか否かを判定する。残っていればF002の入力処理に戻り、それ以上索引対象となる語句が残っていなければ、F012で、Tフラッグをオンにして、索引不成功である事をプログラム内で明示の後、F012Aで索引不成功をブザーで報知し、F002の入力処理に戻る。

【0021】

S001は辞書索引プログラムの入口である。S002では、辞書にこれ以上索引語句が無いか否かを判定し、無ければS002Aに進み、索引語句無しフラッグをオンにセットして、本サブプログラムを出る(S002B)。

【0022】

S002の判定でまだ索引語句があれば、S003に進み、索引対象領域の上限、下限の中間位置にある語句を取り出し、S004の処理に進む。この場合、上限とは文字列の大きい方向の限界を指し、下限とは文字列の小さい方向の限界を言う。

【0023】

S004は辞書から取りだした語句の先頭文字列と入力文字列の値を同じ桁数で比較し、辞書側の語句の先頭文字列が入力文字列よりも大きいか否かを判定する。もし大きければS005に進み、辞書語句の方が大きいので、下限方向、即ち索引対象領域の下半分の領域で唯一語句が存在する可能性があり、その為に、索引対象領域を下半分に狭める。その後処理はS002に戻る。

【0024】

S004の判定で、辞書語句の方が大きく無ければ、処理はS006に進み、S006では、辞書から取りだした語句の先頭文字列と入力文字列の値を同じ桁数で比較し、辞書側の語句の先頭文字列と入力文字列が等しいか否かを判定する。

もし等しければ処理はS007に進み、唯一の語句が存在するか否かを判定する。唯一の語句が存在しなければ、S012以降の処理に進む。唯一の語句が存在すれば、S008に進み、辞書に唯一の語句が存在する事を示す唯一語句フラッグをオンにして辞書索引プログラムを出す。S006の判定で等しく無ければ処理は、S009に進む。

【0025】

S009では、辞書から取りだした語句の先頭文字列と入力文字列の値を同じ桁数で比較し、辞書側の語句の先頭文字列が入力文字列よりも小さいか否かを判定する。小さければ処理はS010に進み、辞書語句の方が小さいので、上限方向、即ち索引対象領域の上半分の領域で唯一語句が存在する可能性があり、その為に、索引対象領域を上半分に狭める。その後処理はS002に戻る。S009の判定で小さくない場合は、何か異常が発生したものであるとしてS011に進み、エラー処理を行う。（ここでは本発明と直接関係しないので説明を省略する）。

【0026】

S007の判定で唯一語句が存在しない場合に、処理はここに移り、S012では、入力文字列と等しい辞書語句の範囲を特定するため、辞書内の現・索引対象領域の上半分に於いて、入力文字列より大きい先頭文字列の語句を探す処理をする。

【0027】

次に、S013の判定で、上半分の領域に入力文字列より大きい先頭文字列の語句が無かった場合、処理はS014に進み、この場合、上半分の領域は入力文字列と等しい先頭文字列の辞書語句で占められているので、S012の実行時の上限をそのまま新しい上限としてセットして、下限の設定の為にS016に進む。S013の判定で、上半分の領域に入力文字列より大きい先頭文字列の語句があった場合、処理はS015に進む。

【0028】

S015では、入力文字列より大きい先頭文字列の辞書語句の位置を用いて、辞書索引の新しい上限とする。その後処理は次のS016に進む。

【0029】

S 0 1 6では、辞書の下半分の領域に入力文字列よりも小さい先頭文字列の語句を探す処理をする。その後処理はS 0 1 7に進む。

【0030】

S 0 1 7では、入力文字列よりも小さい先頭文字列の語句の有無を判定し、無い場合、処理はS 0 1 8に進み、この場合、下半分の領域は入力文字列と等しい語句で占められているので、S 0 1 6の実行時と同じ下限値を適用し、新しい下限とする。その後処理は辞書索引プログラムを出す。

【0031】

S 0 1 7の判定の結果、入力文字列よりも小さい先頭文字列の語句があった場合、処理はS 0 1 9に移り、S 0 1 9では、入力文字列よりも小さい先頭文字列の語句の位置を適用し、それを新しい下限として設定して、辞書索引プログラムを出す。

【0032】

S 0 2 0以降は前記のF 0 0 9 Bで参照される語幹・略語判定処理の手順である。S 0 2 0では、複数候補語句の語幹が一致するか否かを判定する。もし一致すれば処理はS 0 2 0 Aに進み、S 0 2 0 Aに於いて、入力文字列の最後の文字と等しい最後の文字を持つ唯一の語句の文字列が存在するか否かを調べ、無ければ処理はS 0 2 1に移り、存在すれば、S 0 2 0 Bで特定成功フラッグ及び唯一語句フラッグをオンにセットし、この判定処理サブプログラムを出す。S 0 2 0の判定で不一致の時は、処理はS 0 2 1に進む。

【0033】

S 0 2 1では、候補語句の文字列の中、入力文字列と照合済みの部分以降に、最後に入力した文字が含まれているか否かを判定する。含まれていれば処理はS 0 2 1 Aに進み、該当語句は単一かを調べ、そうでなければS 0 2 1 Bで非該当語句を以後の照合対象から除外して、このサブプログラムを出す。単一であればS 0 2 1 Cで特定成功フラッグ及び唯一語句フラッグをオンにセットした後、このサブプログラムを出す。

【0034】

前記S 0 2 1の判定で、最後に入力した文字が含まれていない場合、S 0 2 2で特

定不成功フラッグをオンにセットして、このサブプログラムを出る。

【0035】

図11, 索引辞書の例1は、本実施例にかかわるテキスト入力に用いられる索引辞書の内容と、辞書索引処理の例を示す。図11(例1)を参照して、多数の語が文字列順に格納されている辞書に対して、例えば、adを入力した時点ではまだ特定できないが、adhまで入力すると、語幹が一致する候補は3語のみとなり、次に唯一と成り得る文字を入力すれば、3語の候補の中から、いずれかを選択できる。例えばこの後、tを入力すればadherentが選択出来るし、cを入力すればadherenceを選択することが出来る。

【0036】

同様に、図11(例2)を参照して、例えば、adeまで入力が進むと、この時点で、辞書内にadeを含む語はadequateが唯一と判定される。図11は、索引辞書の例2である。

【0037】

【発明の効果】

本発明のテキスト入力方法によれば、テキスト入力途中で、入力途中の文字列を含む唯一の語句が、辞書手段中に存在すると判定された場合、その語句により、入力途中の文字列が置き換えられ、以降の入力を必要としない。従って、個人の記憶能力に左右されず、且つその事をあまり意識しないで使える自然な方法で、テキスト入力効率を向上させる事が出来る。

【0038】

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施例のテキスト入力装置を実現する処理装置のブロック図である。

【図2】

本発明の一実施例のテキスト入力装置の一部である入力、編集、表示部分の処理に関わるフローチャートである。

【図3】

本発明の一実施例のテキスト入力装置の一部である辞書索引、補正処理に関わる

フローチャートである。

【図4】

本発明の一実施例のテキスト入力装置の一部である、語幹・略語判定処理、索引語句有無等に関わるフローチャートである。

【図5】

本発明の一実施例のテキスト入力装置の一部である辞書索引サブプログラムの索引語句の有無判定と辞書語句の取り出しに関わるフローチャートである。

【図6】

本発明の一実施例のテキスト入力装置の一部である辞書索引サブプログラムの辞書語句と入力文字列の比較結果（大きい場合、等価の場合）とその対応処理に関わるフローチャートである。

【図7】

本発明の一実施例のテキスト入力装置の一部である辞書索引サブプログラムの辞書語句と入力文字列の比較結果（小さい場合）とその対応処理、及び上半分の領域での語句探索処理に関わるフローチャートである。

【図8】

本発明の一実施例のテキスト入力装置の一部である辞書索引サブプログラムの中、新しい上限設定に関わるフローチャートである。

【図9】

本発明の一実施例のテキスト入力装置の一部である辞書索引サブプログラムの中、新しい下限設定に関わるフローチャートである。

【図10】

本発明の一実施例のテキスト入力装置の一部である語幹・略語判定処理に関わるフローチャートである。

【図11】

索引辞書の例1である。

【図12】

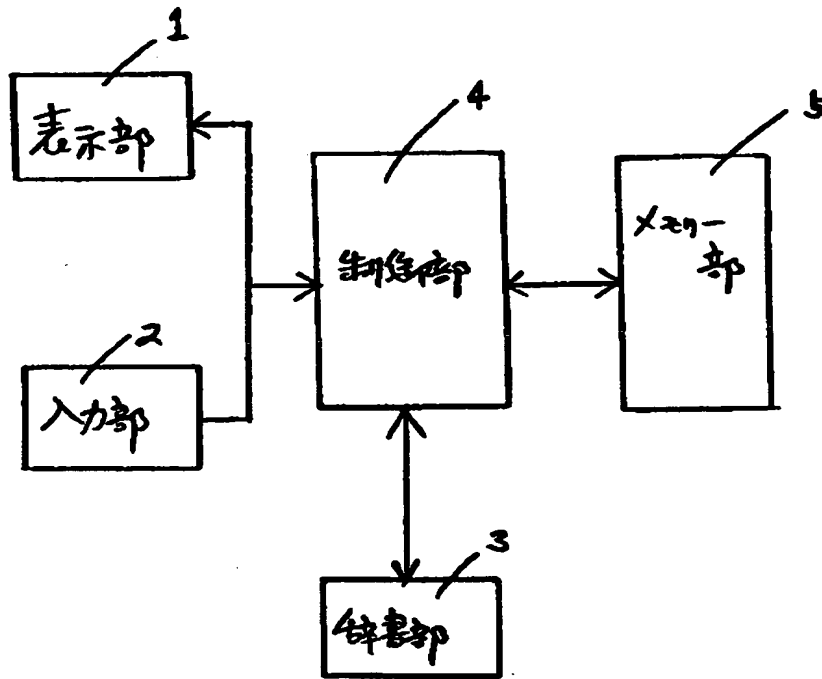
索引辞書の例2である。

【符号の説明】

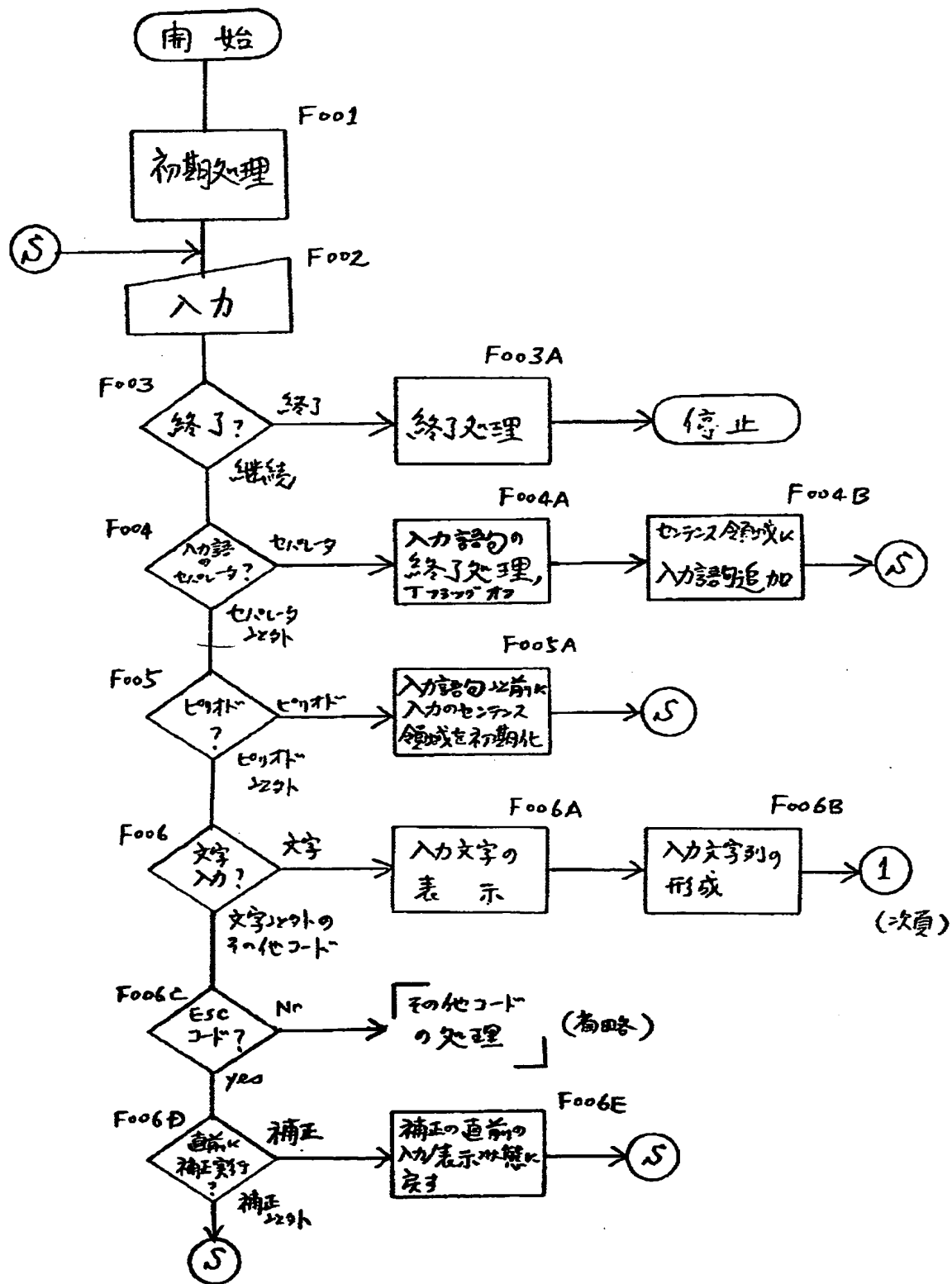
- 1 表示部
- 2 入力部
- 3 辞書部
- 4 制御部
- 5 メモリー部

【書類名】 図面

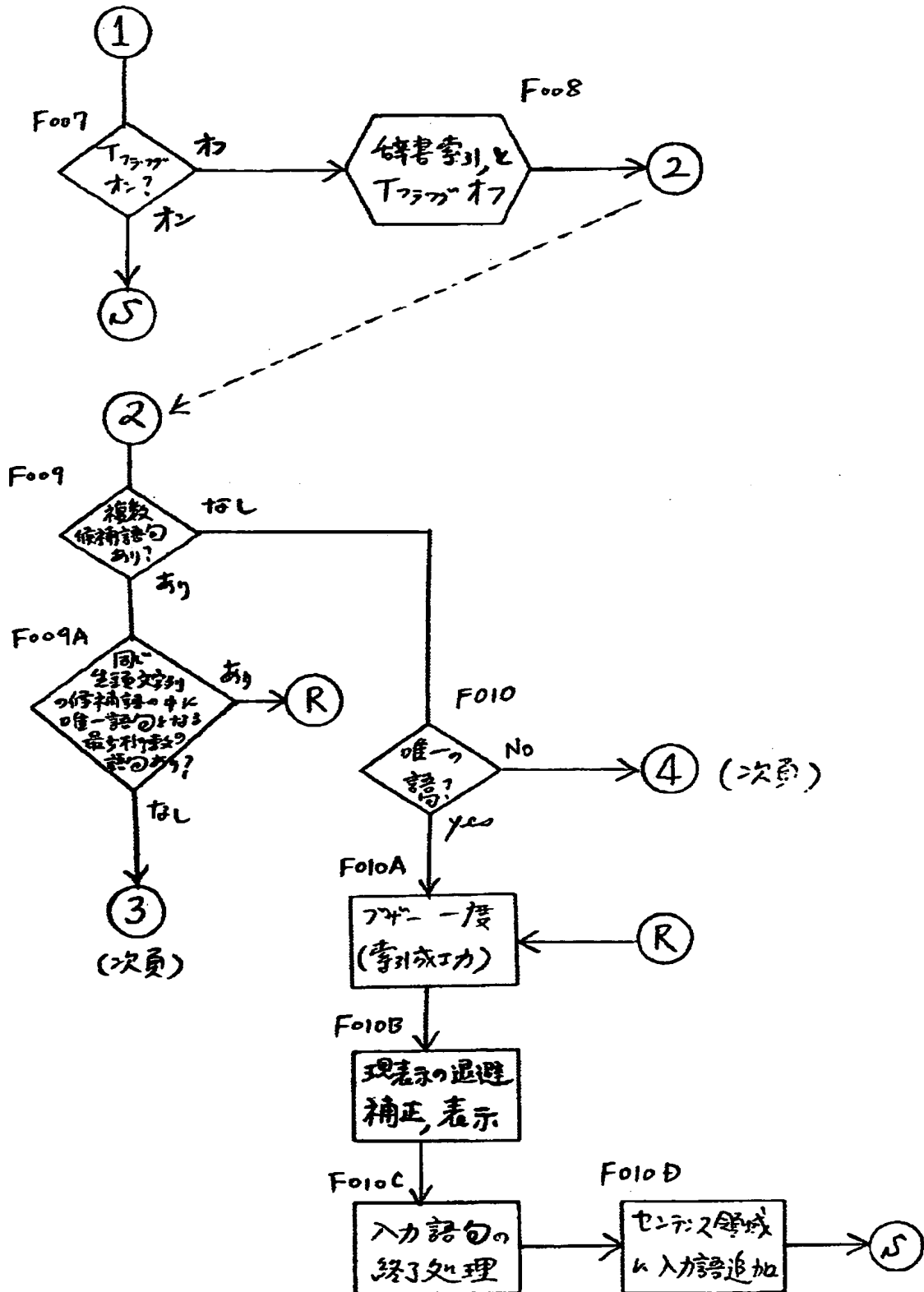
【図1】



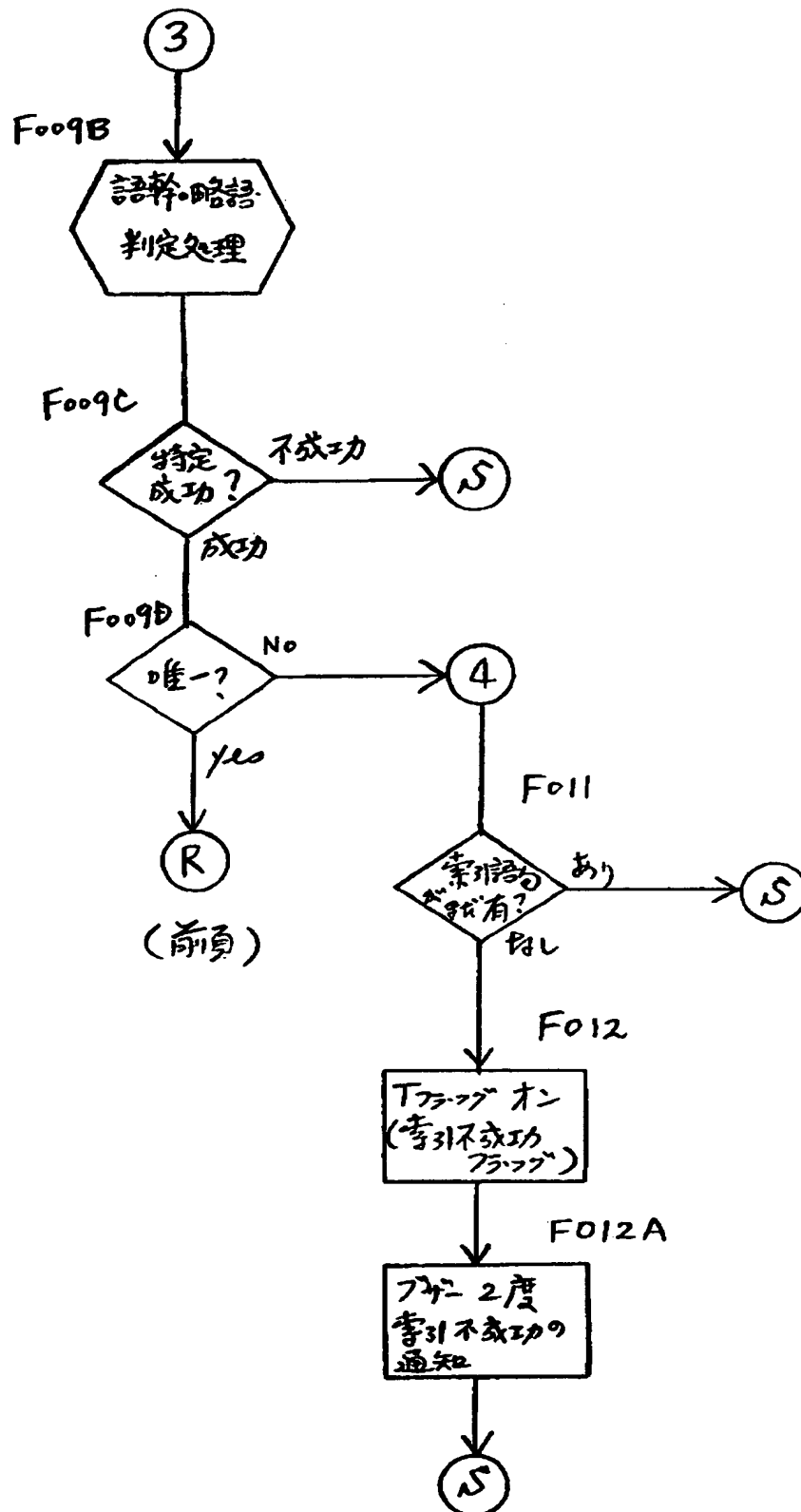
【図2】



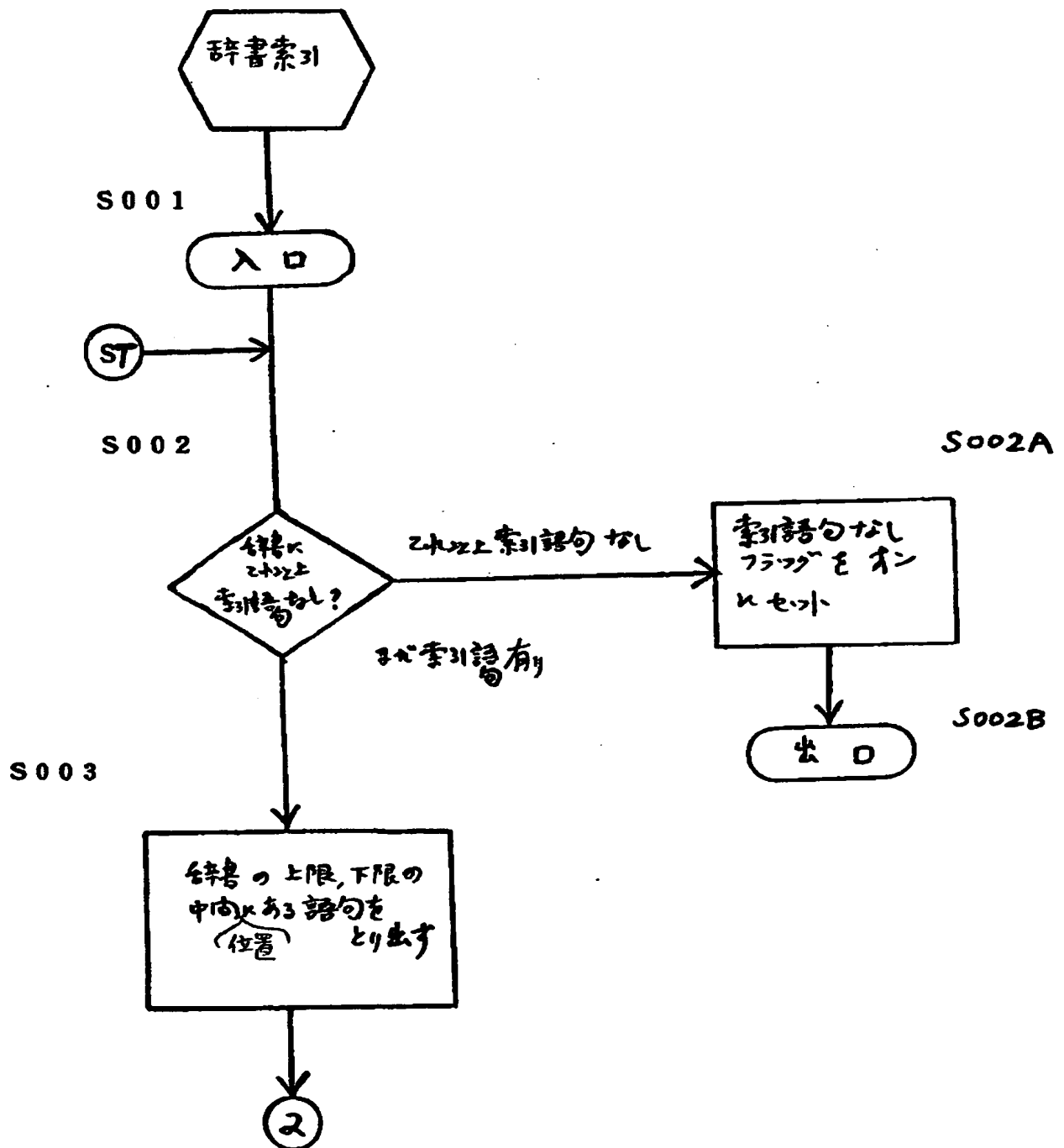
【図3】



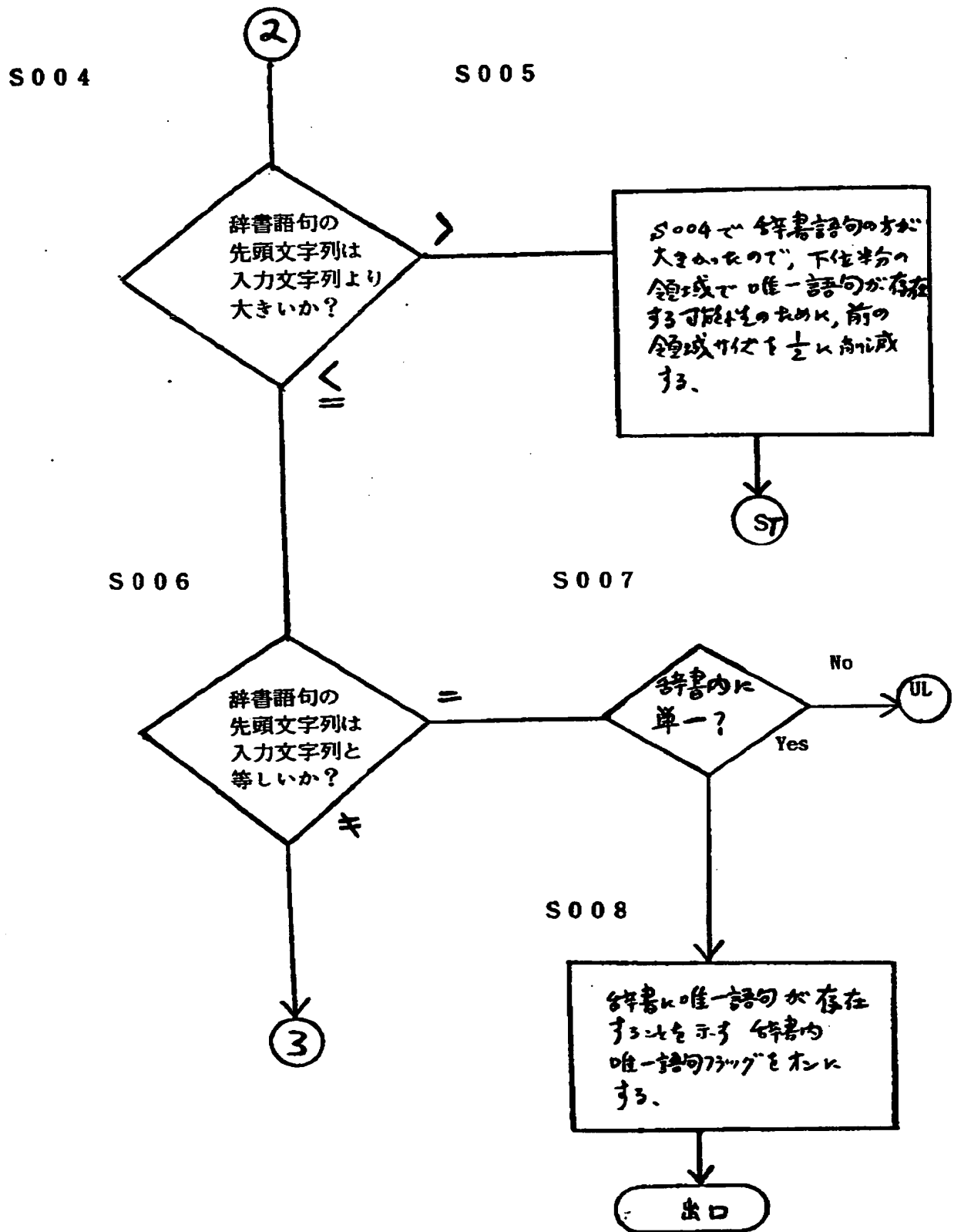
【図4】



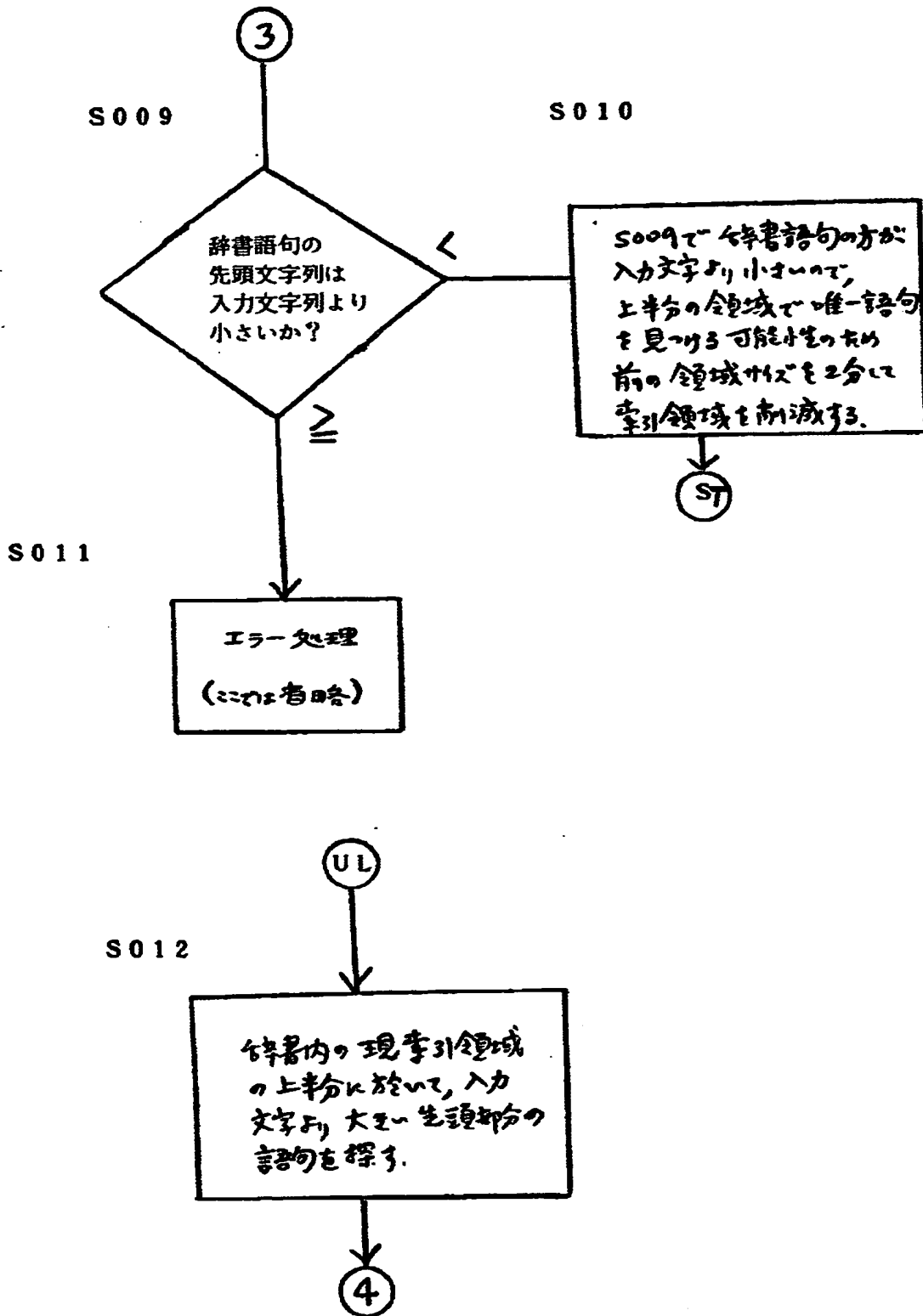
【図5】



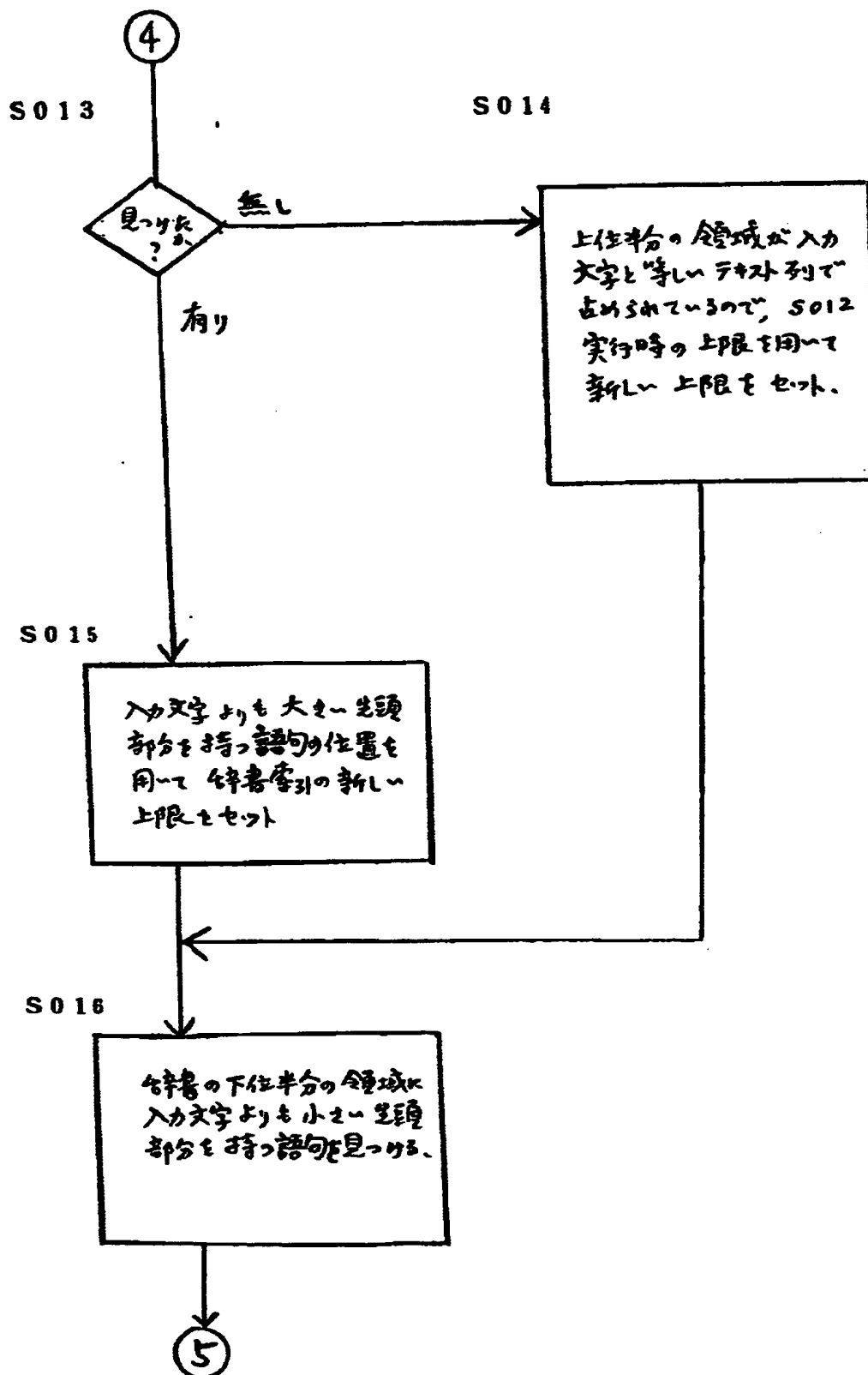
【図6】



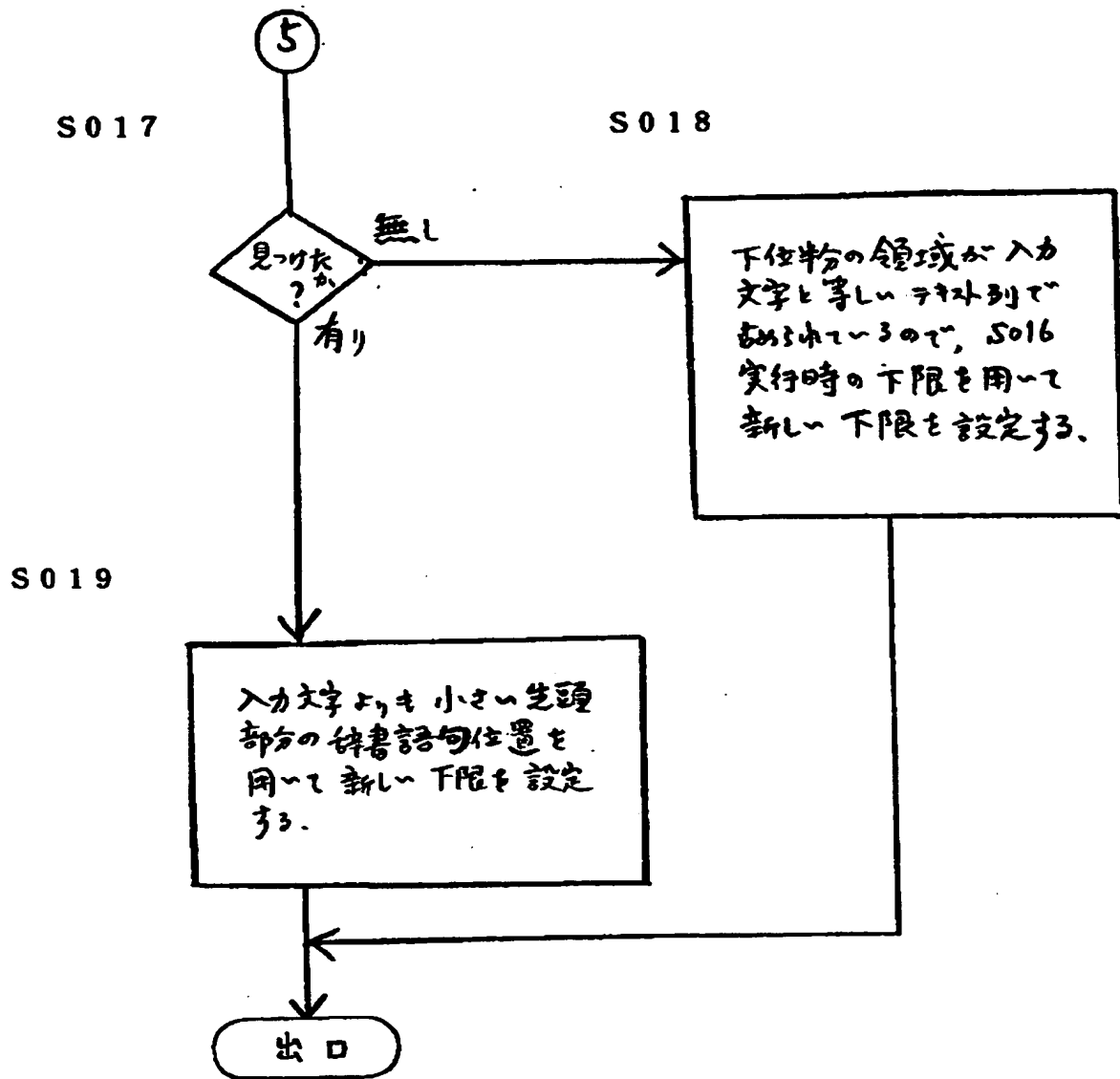
【図7】



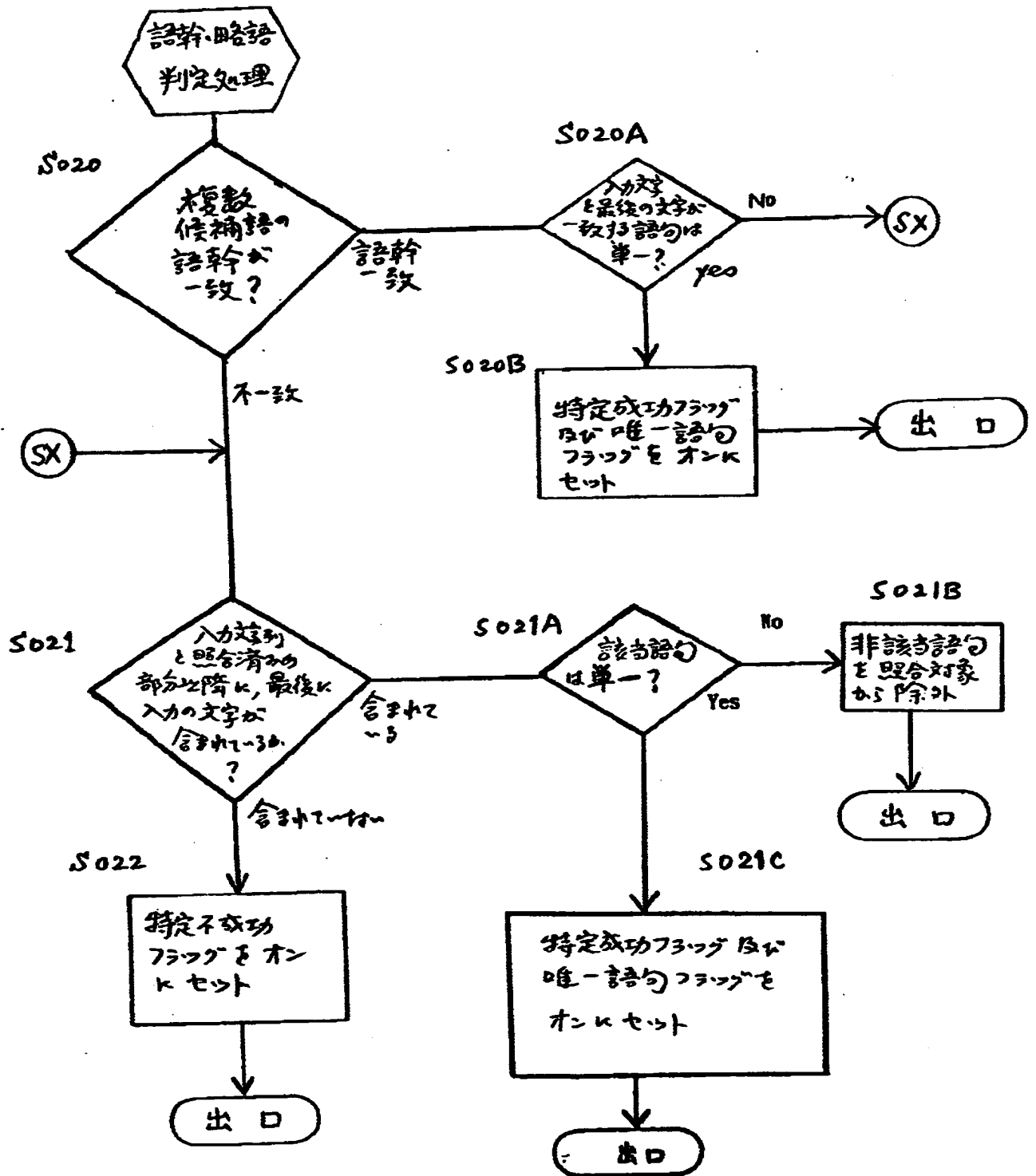
【図8】



【図9】



【図10】



【図11】

索引辞書の例1

語句	品詞	
act	n. vi. vt	
acting	a. n	
action	n	
active	a	
activity	n	
actor	n	
actress	n	
actual	a. n	
acute	a	
adapt	vt	
adaptation	n	
add	vi. vt	(例1)
addition	n	adを入力時点では
additional	a	adを含む語が多数
address	n. vt	あり、特定出来ない。
adequate	a	
adhere	vi	adk まで入力すると 語幹が一致する
adherent	a	候補は 3 語のみとなり、
adherence	n	もし 次に 唯一の語となり得る
adieu	n	文字を入力すれば、3 語の内、
adjacent	a	いずれかを この時点で選択し、
adjective	n	置き換える事が可能。
adjoin	vi. vt	例えば、t を入力すれば adherent, c ね3
adjourn	vi. vt	adherence _k 置き換えられる。
adjunct	a. n	
adjust	vt	
administer	vi. vt	(例2)
administrate	vt	この場合、ade まで入力
administration	n	すると、この辞書内で
administrative	a	adequate が
administrator	n	adeを含む唯一の語と
admirable	a	なり、adequate が
admiral	n	採用される。

【図12】

索引辞書の例2

語句	品詞

color	n. vi. vt
color bar	n
color box	n
color conditioning	n
color development	n
color equation	n
color fixing	n
color index	n
colorado	n
coloration	n
coloratura	n. a
colorbearer	n. a
colorblind	a
dry	n. a. vi. vt
dry cell	n
dry cleaning	n
dry milk	n

注: prep (前置詞)、n (名詞)
 pron (代名詞)、
 vi, vt (動詞)、

conj (接続詞)
 aux/v (助動詞)

ger (動名詞)、a (形容詞)
 ad (副詞)

【書類名】 要約書

【要約】

【目的】 操作者個人の能力に依存せず、自然な入力方法によってテキスト入力の効率を向上させる。

【構成】 テキスト入力装置に於いて、1文字単位で入力し、その入力文字列を用いて辞書索引を行い、入力文字列と先頭文字列が一致する唯一の語句があるか否かを判定。もし複数候補語句があり、語幹が一致すれば、次の入力文字と複数候補語句の最後の文字を照合し、一致する唯一の語句があれば、それを入力文字列に置き換えて表示する。又、入力文字列と先頭文字列が一致する語句が辞書に存在しない場合、その直前まで存在した候補語句の文字列の中、入力文字列と照合済みの部分以降に最後の入力文字を含む唯一の語句があれば、それを入力文字列に置き換えて表示する。

【選択図】 図2、図3、図4

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】	申請人
【識別番号】	593129700
【住所又は居所】	東京都江戸川区平井1丁目16番8号
【氏名又は名称】	中村 健
【特許出願人】	申請人
【識別番号】	593185821
【住所又は居所】	千葉県流山市大字加1040
【氏名又は名称】	合田 つね
【特許出願人】	申請人
【識別番号】	593129711
【住所又は居所】	千葉県流山市大字加1040
【氏名又は名称】	合田 英彦
【特許出願人】	申請人
【識別番号】	593129722
【住所又は居所】	東京都品川区上大崎3丁目10番27号
【氏名又は名称】	大野 幹雄
【特許出願人】	申請人
【識別番号】	593129733
【住所又は居所】	東京都台東区浅草5-71-13
【氏名又は名称】	荻島 陽子
【特許出願人】	申請人
【識別番号】	593129744
【住所又は居所】	千葉県松戸市日暮227-1
【氏名又は名称】	合田 政雄
【特許出願人】	申請人
【識別番号】	593129755
【住所又は居所】	奈良県奈良市西九条町3丁目8番25号
【氏名又は名称】	合田 光▲廣▼

【書類名】 手続補正書

【提出日】 平成 6年 8月14日

【あて先】 特許庁長官 殿

【事件の表示】

 【出願番号】 平成 6年特許願第171532号

【発明の名称】 テキスト入力装置

【補正をする者】

 【事件との関係】 特許出願人

 【識別番号】 593129755

 【郵便番号】 630

 【住所又は居所】 奈良県奈良市西九条町3丁目8番25号

 【氏名又は名称】 合田 光廣

 【電話番号】 0742-61-7708

【発送番号】 027973

【手続補正 1】

 【補正対象書類名】 明細書

 【補正対象項目名】 特許請求の範囲

 【補正方法】 変更

 【補正の内容】 1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 文字情報を入力する入力手段と、唯一語句文字列からなる語句を複数個格納する辞書手段と、前記入力手段からの文字入力毎に、その入力文字列を前記辞書手段と照合し、前記入力文字列を含む複数の唯一語句文字列が存在するか、前記入力文字列と先頭文字列が等しい複数の唯一語句文字列が存在し、それらの語幹が一致していれば、その語幹部分の文字列で入力文字列を置き換え、以後の文字入力時に、その入力文字と前記複数の唯一語句文字列の最後の文字を比較し、一致する唯一の文字列があるか否かを判定し、一致しない時は、前記複数の唯一語句文字列の中、入力文字列と既に照合済みか、或は表示された語幹部分以降に、前記入力文字を含む唯一の語句があるか否かを判定する判定手段と、入力文字列を含む唯一の文字列として前記判定手段により判定された文字列を出力する出力手段、及び、前記各手段を制御する制御手段を含むテキスト入力装置。

【請求項2】 文字情報を入力する入力手段と、唯一語句文字列からなる語句を複数個格納する辞書手段と、前記入力手段からの文字入力毎に、その入力文字列を前記辞書手段と照合し、前記入力文字列を含む複数の唯一語句文字列か、前記入力文字列と先頭文字列が一致する複数の唯一語句文字列があれば、前記入力手段からの文字入力に戻り、前記入力文字列を含むか、前記入力文字列と先頭文字列が一致する唯一語句文字列が無い場合、それが先頭文字の入力である場合を除き、それ以前の文字入力時に、前記入力文字列を含むか、前記入力文字列と先頭文字列が一致すると判定された前記辞書手段中の唯一語句文字列の中、入力文字列と既に照合済みの部分以降に、最後に入力された文字を含む唯一の文字列があるか否かを判定する判定手段と、唯一の唯一語句文字列として前記判定手段により判定された文字列を出力する出力手段、及び、前記各手段を制御する制御手段を含むテキスト入力装置。

【書類名】

職権訂正データ

【訂正書類】

手続補正書

<認定情報・付加情報>

【補正をする者】

申請人

【識別番号】

593129755

【住所又は居所】

奈良県奈良市西九条町3丁目8番25号

【氏名又は名称】

合田 光▲廣▼

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [593129700]

1. 変更年月日 1993年 5月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都江戸川区平井1丁目16番8号

氏 名 中村 健

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [593185821]

1. 変更年月日 1993年 8月31日
[変更理由] 新規登録
住 所 千葉県流山市大字加1040
氏 名 合田 つね
2. 変更年月日 1994年10月27日
[変更理由] 住所変更
住 所 千葉県流山市大字加1040
氏 名 合田 つね

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [593129711]

1. 変更年月日	1993年 5月31日
[変更理由]	新規登録
住 所	千葉県流山市大字加1040
氏 名	合田 英彦

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [593129722]

1. 変更年月日 1993年 5月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区上大崎3丁目10番27号

氏 名 大野 幹雄

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [593129733]

1. 変更年月日	1993年 5月31日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都台東区浅草5-71-13
氏 名	荻島 陽子

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [593129744]

1. 変更年月日	1993年 5月31日
[変更理由]	新規登録
住 所	千葉県松戸市日暮227-1
氏 名	合田 政雄

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [593129755]

1. 変更年月日 1993年 5月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 奈良県奈良市西九条町3丁目8番25号

氏 名 合田 光▲廣▼